



優しい気持ち

校長 渡部 智昭

今年も梅雨の時期になりました。天気予報にも雨のマークがつく日が増えてきました。そのような中、令和5年度第45回体育祭を5月26日(金)に実施しました。当日は天気にも恵まれ、暑すぎずちょうど良い気温の中で体育祭を実施することができました。23日に予行を行う予定でしたが、雨のため前日25日に実施となり、予行に続けての本番となりました。限られた練習時間での取り組みでしたが、まず立派だったのが開始時刻の前に全員が整列し静かに待っていたこと。予行や全体練習の時もできていたのですが、続けてできることが大変すばらしいと思いました。そして、開会式の態度も立派でした。宮前体操もこれまでの練習の成果を発揮して一つひとつの動作や声出しなど細かなところまで意識してできていました。その後も、自分が出場する種目の集合や入退場の動き、各係りの仕事などによく取り組むことができていました。競技の時間が予定より遅れてしまいましたが最後までプログラムを実施することができました。今年は、学年による制限なしで保護者公開を実施したので、沢山の方に体育祭を見ていただくことができました。また、渡邊PTA会長様はじめ役員の皆様には、受付や会場の警備などご協力いただきありがとうございました。運営に関して至らない点多々あったかと思えます。今後振り返りを行い、改善が必要な点は次年度に活かしてまいりたいと思えます。

閉会式の講評で、一生懸命取り組んでも転んだり、リレーでバトンを落としてしまったりなどの失敗があっても、それは優しい気持ちで受け入れてほしいという話をしました。勝ち負けや順位があるので失敗に対して厳しくなってしまうこともありますが、そうではなくて一生懸命に取り組んでいたことを認めて、励まし合えるようになりたいものです。

今日から6月になりますが、今月は「いじめ撲滅強化月間」です。いじめは、どこの学校にもおこりうることです。しかし、お互いが優しい気持ちを持って接することができれば、いじめはなくせると思います。今月、生徒による「いじめ防止対策委員会」や学級で「いじめ防止スローガン」作りなどが行われます。特定の人に意地悪をしたり、からかったり、ちょっかいを出したりする行為はいじめです。絶対にいじめをしてはいけません。生徒の皆さんで意地悪されたり、からかわれたりして困っている人がいたら早めに先生方に相談してください。また、いじめを目撃した人も早めに先生方に報告してください。見て見ぬふりをしていじめを止めない人もいじめの加害者と同じです。小さな勇気が学校を変えていきます。保護者の皆様も、お子様の様子で気になることがございましたら遠慮なくご相談ください。みんなで協力していじめのない宮前中にしていきましょう。

話は変わりますが、5月15日に日進北小学校の寺腰校長先生から、「今朝の登校時、日進南交差点の歩道橋で、3年生の児童が転んでしまったところに、宮前中の生徒が声をかけてくれて対応してくれたということがありました。生徒の名前はわからないのですがありがとうございました」と御礼の電話が入りました。とても良い話なので、次の日の体育祭全体練習後に話をしたところ、3年生の松村茉依さん、宮永結衣さん、阿子島琴逢さん、山之内理心さんの4人が対応してくれたことがわかりました。優しい気持ちで小学生に対応してくれてありがとうございました。

最後になりますが、土曜日から学校総合体育大会が行われます。3年生にとっては最後の大会です。試合の最後まで手を抜くことなく全力を出し切ってきてください。そして、どの部活も1回戦を勝ち上がり上位をめざしてがんばってください。保護者の皆様も応援よろしくお願ひいたします。